7月20日（木）1学期　終業式の話

校長先生より

児童のみなさん、おはようございます。今日、1学期の終業式を迎えました。4月10日に始業式を迎え、7月20日の今日までの1学期は、大雨警報で1日お休みがありましたが、69日間ありました。学級の仲間、学年の仲間、学校の仲間、保護者の方々、地域の方々、そして先生方と一緒にたくさんの学習を行いました。よくがんばりました。

さて、みなさんが楽しみにしている夏休みは、明日から数えて35日間あります。1学期みなさんが学校で過ごした日数の約半分になります。その間、いつもよりは少しのんびりしながら、計画的に夏休みの宿題やお家のお手伝いなどに取り組んでいってほしいなあと思っています。

そして、夏休みには、いつもはなかなかできないことに挑戦してほしいと思っています。校長先生も毎年、夏休みに何かに挑戦しています。

4年前は、毎日英語で日記を書くこと。3年前は、東京オリンピック・パラリンピックの全競技の金メダリストの名前をノートに書きだすこと。昨年は「世界遺産」について毎日学習すること。今年は、何をしようかといろいろ考えてみましたが、大学院というところで勉強するための試験に向けて学習することに挑戦してみようかなあと思います。大学院というのは、大学というところで勉強したことをさらに深めたり、広げたりするためにいくところなのですが、まだまだ知らない事、わからいないことを知ったり、わかったりすることを続けていきたいなあと思っています。夏休み明け、校長室の前の机の上にこんなことやってみましたよーというノートや本を置いておきたいと思いますので、興味のある人は、見てみてくださいね。

さて、1年生から6年生のみなさんは、どんな挑戦をしますか？小さな挑戦でも大きな挑戦でも、人に迷惑をかけないことならなんでも構いません。「やってみよう！！」と思うものを見つけて、是非何かに挑戦してみてください。そして、夏休み明けに学級の仲間や先生方、校長先生にも教えてくださいね。今からみんなの挑戦を聞かせてもらうことを楽しみにしています。

それでは、2学期に元気に笑顔で会いましょう。楽しい夏休みを過ごしてください。

これで校長先生の話を終わります。